

平和な世界の建設を人間関係研究で

(平成27年7月4日 ～ 7月5日 世界天才会議 出展論文)

ドクター中松 ゴールド会員 高橋 弘子

人間は、元来、戦争や争いが好きであることは、過去の歴史を見れば、それは証明される。

権力獲得を目的とした戦争は、果てしなく続いている。現在の権力獲得の手段は、お金を得て、それを自由に操り、また権力維持のために、もっと多くのお金を得ようとして、欲望は限りなく追及される。

そのお金を得るためには、戦争をさせ、軍需産業に利益を与えようとしたり、他人から搾取して、自分だけ得をしたい。他人を自分の欲望を遂げるための道具にしたい。そのためには、他の人間の命や、他の人間の幸福追求の権利などは、どうでもいいんだという状況を作りだす。

アメリカ合衆国では現在も性的人身売買が問題となっており、特に移民の女性が売春に従事することがあることから、女性移民は潜在的に性的奴隷であるとする意見もある。

人身売買（じんしんばいばい）とは、人間を金銭などの対価として売買する行為の事である。自ら身売り出したり（借金の返済、親族に必要な金銭の用立てなど）、親が子を、また奴隷状態にある人を売買することもあるが、誘拐などの強制手段や甘言によって誘い出して移送することも多い。

こういった人間の悲惨な姿をみて、こうあってはならないと感じるか、仕方がないと感じるか、どうしたら回避できるのかと考えを巡らせるか。人間同士で殺しあったり、虐めたりする姿は、動物と同格となっている。人間は、もっと知的レベルが高い、インテリジェンスであるべきなのである。しかし、世界は、殺戮、殺しあい、戦争、他の者の権利を奪い、自分のものにしようとして闘う。

人間は、死んでしまったら、死後の世界はあるのか、ないのか。天国と地獄があるのかなのか。もし天国があるとしたら、どんな世界なのか。幸せなのか。幸せとは、どんな状況なのか。美味しいものが食べられる。苦痛がない。喜びがある（どういう喜びなのか）。楽しいのか（何が楽しいのか）。音楽があるのか。歌があるのか。踊りがあるのか。面白いのか。考えられる状況をいろいろ想像すれば、現在、生きている私たちの生活の中において、楽しいと思うこと、うれしいと思うこと、おいしいと感ずること、笑ってしまうこと、かわいいと思うこと、モノゴトを達成した時の感動、美しいと感ずることなどが、生きている現世での極楽だと思える。知的な喜びは、人間として満足がいくものであるが、知的な喜びでも残忍なことをして喜ぶ喜び方もある。

人間の生活環境が良くなるためには、小さな子供が安心して成長していける世界をつくるべきで、正しい秩序や、人間の建設的な本能が十分に社会に採用される必要がある。生活をよりよい方向へ持っていこうとする努力が正当に報われる社会づくりをしなければならな

い。

力が賛美され、戦争がむごたらしく繰り返される世界より、賢明で人間的な統制が行われる世界の建設が必要不可欠な時代になってきている。

工業技術の向上はもちろん必要であるが、人間関係の分野を発達させ、平和の可能性を追求すべき世界をめざすべきではないか。

